

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	避難訓練計画は年2回実施の所、1回しか行っていない。地震や台風、昼夜を想定した訓練が必要。地域住民と具体的な協力体制を設備する必要がある。	年2回地域や関連機関を取り込んだ訓練を実施。日頃よりあらゆる状況の災害を設定した避難訓練を行う。地域住民との連携が図れる。	・年2回地域住民や関係機関に協力を得た避難訓練実施。 ・日常的に避難経路、場所についての点検を行う。(チェック表を作り再確認) ・連絡網を使った訓練災害時に何人集まるかチェック。 ・地区会合や行事を通し、地域住民の協力にあり方について話し合う	6ヶ月
2	33	看取りについての指針が文書で提案されていない為、全体の対応方針の共有がなされていない。	全利用者、家族、職員及び関連機関に対し、看取りについての指針を早急に設置し看取り時に関係者全体で共有できるようにする。	既に看取りの指針や同意書は作成した。入居時や担当者会議などを通して方針を伝え、同意を得ておく。	4ヶ月
3	6	権利擁護や人体拘束について、全体の職員が理解不足。	全体の職員が知識を保ち、周知する。サービスに活かすことが出来る。	毎月の勉強会で自己学習したものを発表する。毎月、発表者が変わることによって復習の機会があり理解が深まる。	6ヶ月
4	45	入浴日と入浴時間を決めて行っており、利用者の要望を充分聞き取れていない。	利用者様のニーズに合った入浴を行う。	担当者会議等で利用者家族の情報と希望を聞き取りケアプランの中に組み入れ実施していく。	3ヶ月
5	54	居室に物品が全くおいていない部屋があり、自宅とのギャップがあるのではないか。(ベッドや飾り物、カーテン類を破壊され、本体への危険性が高いため除いていた状況)	家庭的な雰囲気の中で生活できる工夫をする。	定期的に精神科医療機関を受診し、安定した生活を送れる様に家族と共に行う。飾りなど安全なものから少しずつ取り入れる。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。